

産業建設常任委員会 6月12日

下水道料金の検討 慎重な対応を

下水道事業の経営状況について説明を受けた。

下水道事業の経営状況

【4年度決算見込み】

- 使用料収入
前年度比約3%減少
- 維持管理費
前年度比約6%増加

【今後の対応】

- 効率的な執行
安定的・持続的なサービス提供に向け、経営戦略に基づく効果的な事業執行に努める。

【主な要因】

- 使用料収入
コロナ感染症対応の緩和により社会活動が回復、自宅での水道使用量が減り、約500万円の減少。
- 建設改良費
約3千万円の増加。
- 維持管理費
電気料の急高騰や労務単価の上昇により、約1100万円の増加。
- 使用料の検討
予測できない急激な変化に対応するため、5年度中に経営シミュレーションを実施し、戦略の一部見直しを含めた適正な使用料の検討を行う。

質疑

滞納状況は

【委員】令和4年度の使用料の滞納状況はどうなっているか。

【当局】前年度より若干増えている。徴収率を

上げることも料金適正化には重要であり、給水停止も適切に執行していくとともに、当事者との話し合いを進めながら、滞納解消に努めていきたい。



下水道インフラの要、浄化管理センター

除雪車の管理、万全に

完成した除雪機械格納庫について説明を受け、現地を視察した。

除雪機械格納庫の概要

【保管するもの】

- 除雪ドーザ 3台
- 除雪ロータリ 2台
- 小形ロータリ 2台
- 歩道除雪機 25台
- タイヤチェーンなど
- その他の付属品

【施設の規模】

- 鉄骨平屋建て
- 床面積 400㎡
- 格納庫 400㎡
- 管理室 16・45㎡
- 総事業費 1億545万
- 4800円



その他の説明

○下水道事業の地方公営企業法適用の取り組み状況